

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2015 年第 20 週
(5/11～5/17)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

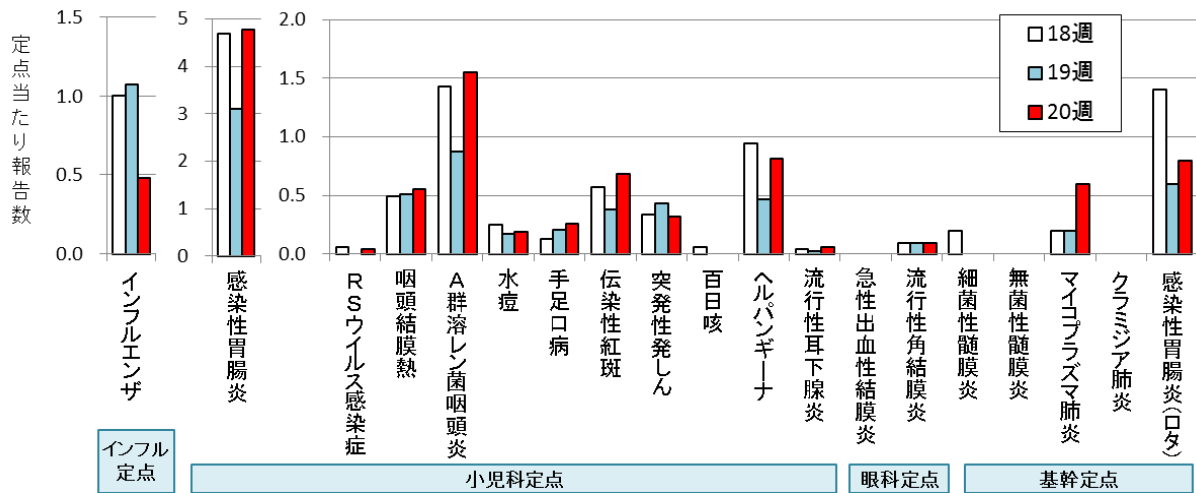
- ◇ 咽頭結膜熱は流行シーズンを迎え、比較的高いレベルで推移しています。
- ◇ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、岐阜市保健所管内で増加が目立っています。 →トピックス
- ◇ 伝染性紅斑は、今週さらに患者数が増加しています。 →トピックス
- ◇ ヘルパンギーナが岐阜市、岐阜、関保健所管内で多く報告されています。

■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	なし	—
注意報レベル	なし	—

● 直近 3 週の比較



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 3 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：つつが虫病 1 例
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 1 例

● 2015 年累計

1 類感染症	なし		
2 類感染症	結核	131 例	
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2 例	腸チフス 1 例
4 類感染症	つつが虫病	1 例	レジオネラ症 7 例
	デング熱	4 例	
5 類感染症	アメーバ赤痢	5 例	侵襲性髄膜炎菌感染症 3 例
	ウイルス性肝炎	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症 24 例
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7 例	水痘（入院例） 2 例
	後天性免疫不全症候群	5 例	梅毒 3 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	播種性クリプトコックス症 1 例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報（IDWR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

■トピックス

《A群溶血性レンサ球菌咽頭炎》

◆ 岐阜市保健所管内で増加しています

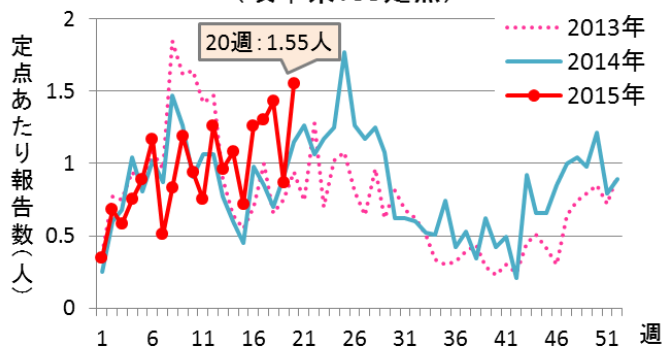
県内 53 の小児科定点医療機関からの第 20 週の患者報告数は、82 人（定点当たり 1.55 人）と増加しています。岐阜市保健所管内では 37 人（定点当たり 4.11 人）と特に高い値となっています。

患者の年齢は 5 歳で最も多く、1 歳から 10 歳以上まで幅広い年齢で報告されています。

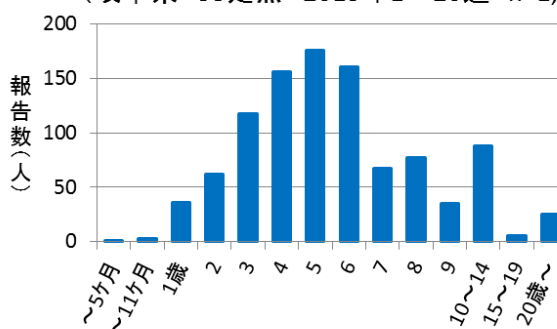
原因菌は患者の鼻水や唾液に排出され、飛沫感染（咳やくしゃみのしぶきに含まれるウイルスを吸い込む）や接触感染（ウイルスの付着した手で口や鼻を触る）により感染が拡大します。

手洗いを励行し、兄弟など身近に患者がいる場合は濃厚な接触を避けるなどの予防対策が重要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数
(岐阜県:53定点)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎年齢別報告数
(岐阜県 53定点 2015年1~20週 n=1,011)



★ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群溶血性レンサ球菌の感染による感染症です。2~5日の潜伏期の後、突然の発熱とのどの痛みで発症し、嘔吐を伴うこともあります。治療には抗生物質が有効ですので、早めの受診が大切です。

★ 感染症法における取扱い

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約3,100か所（岐阜県53か所）の小児科定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouh-ou-kijun.html>（保健医療課 HP）

《伝染性紅斑》

◆ 全国・県内で患者数が増加しています

今年是全国的に伝染性紅斑の患者報告数が増加しています。県内でも、3月中旬以降患者数の増加がみられています。

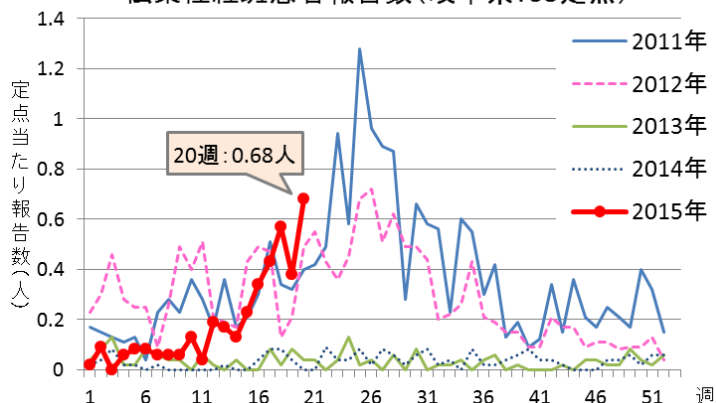
今後、さらに患者が増加することも予想されますので、動向に注意が必要です。

◆ 妊婦の方は特に注意が必要です

伝染性紅斑の原因ウイルスは、患者の唾液や鼻水、たんなどに排出され、飛沫感染または接触感染により伝播します。

ウイルスが排出され周囲への感染性がある

伝染性紅斑患者報告数(岐阜県:53定点)



のは紅斑や発疹が現れる前の潜伏期で、この時期にかぜ様の症状がみられることが多いとされています。感染を拡大させないためには、咳などの症状のある人はマスクを着用するなど咳エチケットが重要です。また、予防には手洗い・うがいなどの一般的な感染対策が大切です。

妊婦が感染するとまれに流産などを起こす場合がありますので、妊婦の方は、手洗いを励行し、かぜ様症状の人に近づくことを避けるなど特に注意が必要です。

★伝染性紅斑とは

ヒトパルボウイルス B19の感染による発疹性疾患で、両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」とも呼ばれます。10～20日の潜伏期間の後、両頬の紅い発疹に続き、腕・脚部にもレース様の発疹がみられます。成人では関節痛・関節炎を起こすことがあり、また妊婦が感染すると胎児水腫や流産を起こす場合があります。

★感染症法における取扱い

伝染性紅斑は、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約3,100か所（岐阜県53か所）の小児科定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouhou-kijun.html>（保健医療課 HP）

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/kenko-fukushi/hokekan/kansensyo/>